



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF

NISHINOMIYA

スポンサー 大阪クラブ DBC 近江八幡クラブ 広島クラブ

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB — CHARTERED MAY 17TH, 1948

主題・スローガン

西宮クラブ会長「みんなで考えよう！」

濱 浩一

地域奉仕・ 「地域社会とのコミュニケーションを見つめ直し

2023年

3月

899号

(76期9号)

廣瀬一雄

環境事業主査 私たちにできる社会貢献活動に取り組みましょう

若林成幸

六甲部部長 「困難な時にこそ YMCA とともに進もう」

田上 正

西日本区理事 「原点を知り将来に生かす」

Shen Chi-Ming

「立ち上がりワイズモットーと共に！」

Ulrik Lauridsen

アジア会長 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

「今すぐ実行を」

国際会長 「輝かそう、あなたの光を」

「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」

3月 西日本区強調活動

CS CS 献金 100%達成と資金を有効活用した地域社会貢献に努めましょう。

伊藤文訓 地域奉仕・環境事業主任（長浜）

Menettes 例会へメネットも積極的に参加しましょう。メネット間の交流促進、茶話会や旅行を計画して
懇親を深めましょう。

吉本典子 メネット委員会委員長（熊本ジェーンズ）



西宮ワイズメンズクラブ 2023年3月第一例会

日時：3月 10日(金) 19:00～20:30

場所：西宮 YMCA 西館3階

ドライバー：宮地特別メネット、馬場一郎メン

1. 開会点鐘 濱会長

2. ワイズソング

3. 聖句朗読 馬場一郎メン

4. 食前感謝 馬場一郎メン

5. 食事

6. ゲスト紹介 濱会長

7. ゲストスピーカー NVNAD 寺本弘伸氏

『阪神淡路大震災とこれからの防災』（仮）

8. お誕生日のお祝い

9. ワイズニュース 濱会長

10. YMCA 報告 藤田担当主事

11. 閉会点鐘 濱会長

今月の聖句

『はっきり言っておく。だれでもこの山に向かい、「立ち上がって、海に飛び込め」と言い、少しも疑わず、自分の言うとおりになると信じるならば、そのとおりになる』

マルコによる福音書第 11 章 23 節

馬場一郎選

2月出席状況 (在籍会員数 22名)

第一例会 (10 金) 第二例会 (24 金)

メン 18名 メン 11名

メネット 0名 メネット 0名

ゲスト 2名 ゲスト 0名

MU 1名 計 11名

合計 19名 出席率 86. 4%

ファンド

	2月	累計
ニコニコファンド	¥2,000	¥19,000
BF	¥6,400	¥25,945

HAPPY BIRTHDAY / MARCH

11日 万本メン 24日 藤原俊夫氏

会長 濱 浩一

直前会長 廣瀬 一雄

副会長(次) 未

副会長 石井 恭子

書記 小野 勅紘, 山口 吉郎

会計 重村 仁, 濱崎 進一

監事 岡田 佑一郎, 阪根 新

担当主事 藤田 良祐

地域奉仕・環境事業主査 廣瀬 一雄

LD 委員 馬場 貴英

組織検討安全対策委員 山口 吉郎

会長メッセージ

会長 濱 浩一

2月4日（土）～5日（日）の第3回東西日本区交流会にご参加の皆様お疲れ様でした。

4日の交流会では広島クラブと近江八幡クラブとのDBCクラブ交流が出来きて喜んでいましたが、その前日の3日に神戸クラブの山口徹メンがお亡くなりになっていることを、後日、お聞きし大変ショックを受けました。心よりご冥福をお祈りいたします。

5日の『ぶら神戸』：竹中大工道具館見学でのマーシャルのお役目とその当日にお手伝い頂いた会員のご協力に感謝いたします。



2月23日（木・祝）のワイスメンズクラブ創立100周年の六甲部記念植樹祭の日は、植樹場所の公園が工事中のために入場が10名に限られ、西宮クラブの代表として廣瀬地域奉仕・環境事業主査に参加して頂きました。

3月18日（土）には神戸YMCAチャペルにて六甲部第2回評議会（14:30～16:30）が予定されています。少しは春らしくなって参りましたが、体調管理には十分に気を付けてお過ごしいただき、多数の会員皆様のご参加を宜しくお願い致します。

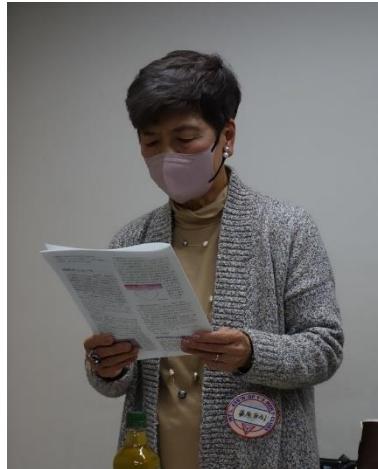
2月第一例会報告

濱崎進一

2月10日（金）19時より西宮 YMCA3階会議室にて例会を開催いたしました。

例会のはじめに司会の藤原メンより神戸クラブの山口神戸YMCA名誉総主事、神戸東部教会の古澤牧師（長年神戸YMミッショントリニティ）2名のご逝去の報告があり、黙祷をおこないました。尚、2月はTOFの月なのでお食事なしにて例会を進行いたしました。

濱会長よりゲストスピーカー 公益社団法人家庭養護促進協会 橋本事務局長さんを紹介、



「里親を求める愛の手運動60年の実績から」のテーマにてお話をいただきました。橋本さんは同協会に長年にわたりかかわっておられます。

協会は発足後60年以上経過していますが、国からの支援を頂けない為今までに2、3度運営の危機がありました。危機に際し故今井神戸YMCA総主事の協力で250万円の援助を頂き切り抜けたこともありました。

アメリカではシアトルタイムズの紙面に定期的に里親先を求める子供の紹介をし、養子縁組の募集記事が掲載されるなど、メディアが積極的に支援していますが、日本でもその企画記事を参考に、

神戸新聞・毎日新聞で「里親探し」キャンペーンがされています。神戸新聞では毎週月曜日に「あなたの愛の手を」紙面記事が継続掲載され、ラジオ関西が毎日曜日に「里親探し」番組にて里親を求めていました。これまでに2,548名の子供が里親・養親の家庭に迎えられました。

里親の種類には、養育里親・養子縁組里親・専門里親・親族里親があり、それぞれの里親には知事・指定都市市長の認定が必要。里親には養育費が国から支給されています。里親の役割は、次の3つで (1)特定の大人との愛着関係の下で教育されることに安心感・自己肯定感・基本的信頼感を学ぶ。(2)将来家庭生活を築く上での親・家族モデルを獲得する。(3)家庭生活の中で、適切な人との人間関係を学ぶ。 というようなことです。

ヨーロッパ、アメリカ等では、生んだ親が育てられない場合の子供の半数以上を他の親が育てていますが、日本の場合は、80%が児童養護施設・乳児院等の行政施設で養育、里親での養育は10%程度で、養子縁組は1%の現状です。

また、アメリカの里親ドーンさんを紹介され、HIV感染の児童を病院から引き取り、また障害者児童の子供ら6名をお世話され、地域のボランティアの方が支援されているとのことでした。日本の現状ではまだまだそのような環境は望めませんが、少しでも理解が進むことを願っています。

里親になるには特別な資格は必要ありません。
①子供の養育に理解や熱意があること。②研修を受講すること。③経済的に困窮していないこと。④里親希望者、同居人が欠格事由に該当しないこと。これら4つをクリアすれば大丈夫なのです。終わりに、里親・養子縁組のキャンペーン継続のための支援を要望されスピーチを終えられました。

スピーチ後に家庭養護促進協会への献金活動をし、¥15,500を橋本事務局長さんへお渡しをしました。また、山本メン（ファンド委員長）提案にてTOF献金（私的献金との説明）がおこなわれ¥6,670集まりました。

続いて今月のお誕生日のお祝いがあり、ワイズニュース、YMCAニュースと進み濱会長の閉会点鐘にて例会を終えました。

例会出席者は、足立、浅野、石井、岩田、岡田、

小野、重村、馬場（一）、濱、濱崎、廣瀬、藤田、藤原、丸山、万本、森川、山口、山本の各メン18名、藤原メンのご友人岸田さん、ゲストスピーカーの橋本さんの20名でした。

例会後、会場を夢庵に移し、名幹事浅野メンのもと18名にて懇親会をもちました。



2月23日にワイズ100周年記念植樹に出席しました

廣瀬一雄

六甲部では神戸市内3箇所に各1本のソメイヨシノ若木を植樹する計画で進めてきました。最終回の3本目は神戸の中心地、市役所南側にある東遊園地での植樹式となりました。植樹担当の大野直前部長はじめ六甲部長、書記各クラブの代表が出席。市の再整備計画の遅れもあって、2月23日に整備途中の工事現場での挙行となりました。未だ工事中のため参加者は10名に限られました。会長、CS委員長さんが当日所用のため私が出席させていただきました。

クリーンアップウォーキングで皆さんと周辺のゴミ拾いをしながら神戸YMCAへの散策は楽しみにお待ちください



YMCA ニュース

担当主事 藤田良祐

2月22日（水）はピンクシャツデーの取り組みを行いました。カナダで始まったこの運動は、「いじめ」をなくすため、他者との違いを受け入れ、互いに認め合える心を育むために、全国のYMCAでも取り組みを進めています。学園都市の保育ルームでも、服の色に関係なく自分が好きだと思うものを大切にして良いということ。また、1・2歳児の子どもたちですから、少しずつ思ったことを言葉で表現できるようになっている時期です。色々な感情を言葉で表すことは大切なことです。できればお互いに嬉しくなる、楽しくなる言葉を選ぼうねということを伝えました。もうすぐ11名の子どもたちがYMCAの保育ルームを巣立っていきます。保育ルームを離れても、子どもたち一人ひとりの心が豊かに育まれ、健やかに育ってくれることを願っています。



1 新入職員研修

神戸YMCAには3つの法人（公益財団法人、社会福祉法人、学校法人）がありますが、それに4月から新たな仲間を迎えます。コロナの影響によりこの数年間は新入職員研修も三宮会館で実施していましたが、今年は



3年ぶりに余島で行いました。「人と出会い、神と交わり、愛の火のもえるところ」である余島で、仲間と一緒に2泊3日を過ごすことで同僚性を高め、YMCAの使命や願いを学ぶ時間となりました。ワイズメンズクラブの皆さんにも、新たなYMCA職員を温かく迎えていただき、これから活動を共にしていただきますよう、よろしくお願ひいたします。

2.育成センターの様子（森川俊介）



今年度残り1か月となり、今いるメンバーで過ごす時間も少なくなってきました。子どもたちを見ていると、ひとつ学年が上がることへの楽しみ、不安、いろいろな気持ちが出てきています。3年生は育成センターを卒所して地域での生活に戻っていきます。自分たちで放課後の時間を過ごすので育成センターでの経験を生かして仲間とこれからも元気に力強く育っていってほしいと願っています。2年生は今の3年生からバトンをうけて、現1年生と一緒に、新しく入ってくる1年生を優しくサポートしてくれればと願っています。各学年、次の学年への準備期間としてこの1か月を過ごしてほしいと思います。

また、4月からは香櫞園200名（待機17名）浜脇122名、用海128名（待機18名）の子どもたちが育成センターを利用します。たくさんの子どもたちが放課後の時間を育成センター（学童保育）で過ごすことになります。保護者や小学校・地域の人たちと一緒に見守っていきたいと思います。

3.地域プログラム（森川俊介）

2月23日からの天候延期により26日に香櫞園浜に約30人が集い、ひと時の時間を過ごしました。全体での自己紹介をした後、体を温めるために参加者全員でしっぽとり（しっぽをつけあって取り合う鬼ごっこ）をしました。「人の形をした木の枝」「顔にみえるはっぱ」「200g ぴったりの砂」などのお題をもとに『家族で宝さがし』をしました。

その後、お互いの「宝」を紹介しあったのですが、それぞれの家族の色が出ていて、面白かったです。最後はお茶タイムをして、解散。その後も残って遊んでいる家族もありました。

時折冷たい風も吹いていましたが、心も身体もほっこりあったかい場所となっていました。



ワイズニュース

【今後の予定】

- 3月8日(水) 日本語スピーチコンテスト
- 3月9日(木) 会長・総主事懇談会 神戸YMCA
- 3月10日(金) 3月第一例会
- 3月11日(土)- 12日(日) 次期会長・主査研修会
大阪コロナホテル
- 3月14日(火) 六甲部ネットの集い
神戸YMCA 18:30-20:00
- 3月18日(土) 六甲部第2回評議会
- 3月24日(金) 3月第二例会

編集後記

ブリテン委員 山口吉郎

今年は花粉が大量に飛散するとの予測が発表されています。花粉アレルギーの身にとっては悲惨



オキザリス(パーシーカラー)

な季節。大阪のピークは、スギ3月上旬～中旬、ヒノキ4月上旬～中旬とのこと。コロナともども気をつけましょう。